

おちおちかたしア

@ のん)みたー



For Adults Only.

クイーンズブレイドに参加した物の、
結局夫が見つからないままのカトリアさん。
そしてクイーンズブレイドに参加していた際に、
巻き返しを図られた武器屋の経営は傾きつつありました。
そんなカトリアの苦境に手を差し伸べたのは地元の好色貴族。
クイーンズブレイドの戦いで躍動感たごかりに映る
彼女のむちむちとした姿態に目を付けたのです。
長期の武具納入の契約を結ぶ事を交換条件に、
カトリアは豊満な肉体を要求され……。

品定めをする様に、
従者達と共にカトリアの体を弄ぶ好色貴族。
特に凄まじいまでの巨大さを誇る爆乳に、執心の模様。
柔らかさを確かめるように五本の指を深く埋めたり、
重さを楽しむように掌に巨大な乳房を乗せ揺すったり、
熟れた肉体をいい様にまさぐられ、
羞恥に苛まれながらも抵抗できずにいるカトリア……





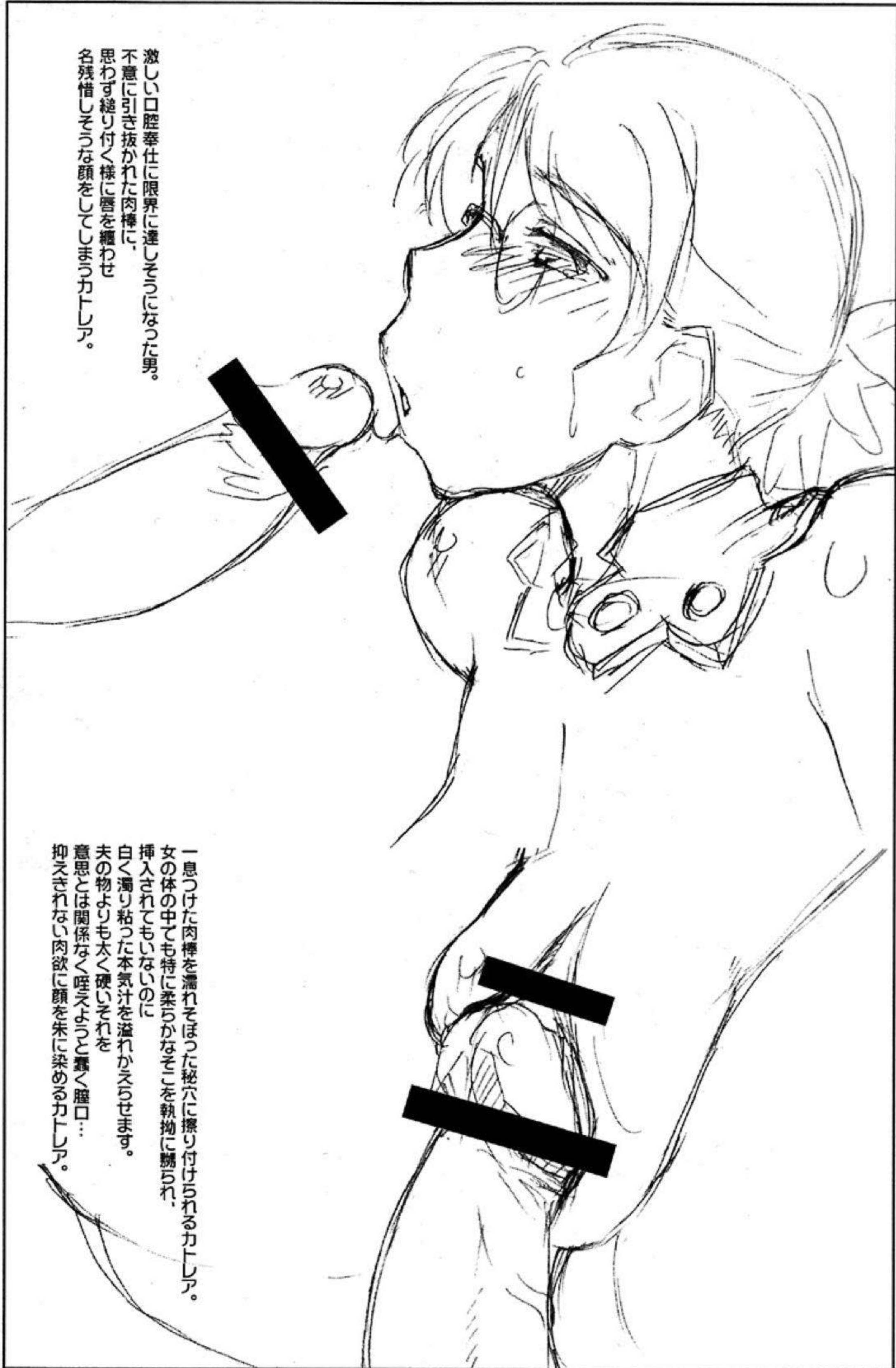
複数の手で執拗に巨大な乳房を揉みしだかれ、
肩を震わせて反応してしまうカトリア。く
手馴れたその手付きは、乱暴なだけではな
熟れた乳房の奥底に熱く焦げ付くような
快感をじつとりと植え付けていきます。



赤黒く淫水焼けした男根を突きつけられ、
口で奉仕をさせられるカトシバ。
口にいっほいっほいおぼろわれた肉棒は、
陸せ返りたくなくなる様な雄の匂いを溢れさせています。
その匂いについてしか理性を薄けさせられたカトシバ、
夫にしか捧げた事のない激しい舌使用で、
肥った貴族の肉棒を夢中で嘍り上げます。

激しい口腔奉仕に限界に達しそうになった男。
不意に引き抜かれた肉棒に、
思わず絶り付く様に唇を纏わせ
名残惜しそうな顔をしてしまっカトリア。

一息つけた肉棒を濡れそぼった秘穴に擦り付けられるカトリア。
女の体の中でも特に柔らかかなそこを執拗に騎られ、
挿入されてもいないのに
白く濁り粘った本気汁を溢れかえらせます。
夫の物よりも太く硬いそれを
意思とは関係なく啜えようと露く腫口…
抑えきれない肉欲に顔を朱に染めるカトリア。



熟れた膣内の奥の奥まで貫く剛直に、
声もないカチンッ。
人妻の秘肉を味わうよひなゆいへんじとした抽送は、
肉棒の太さ硬さを嫌うじつ位に意識させます。
節くれたったその凹凸を敏感な雌の粘膜で感じ取りながら、
甘い声も抑えぬじつに出来なうまま犯されるカチンッ…





背面材の体勢から、
腕をつかまれたまま
上半身を倒された形で
犯されるカトリア。
徐々に早くなつて行く抽送に
ガクガクと膝を震わせ
息も絶え絶えに喘ぎます。
段々と近づいてくる絶頂の兆候に、
うな垂れて肩を震わせながらも
首を強く振り堪えようとする人妻…
しかし数え切れない程の
女を鳴かせて来た太い肉棒に、
雌の肉壺が屈服させられるのは
時間の問題の様です…

敏感な雌の粘膜を入り口から奥まで一気に擦り上げられ、
ぶっくじと膨らんだ龜頭に子宮を強く突き上げられ、
今まで経験のした事のない
深いアクメをキメさせられるカトリア。

夫の物ではない太い肉棒に対して、
愛おしくて仕方ないとも言つ様に
屈服させられた人妻の膣は
強い締め付けを繰り返します…
夫の経験からは想像もつかなかった
深すぎる絶頂に弛緩する全身。
鼻の下すら伸びきったたらしのない表情で、
頭の中を真っ白にさせるカトリア…



未だかつて経験した事のなかった
深すぎる絶頂に弛緩しきつた体を、
仰向けにされ組み伏されるカトシラ。

たつぷりとした脂肪の下に
しっかりと筋肉の残る体を隠した元冒険者の人妻。
本来ならばたつぷりと肥えただけの
中年貴族など相手にならない苦なのですが…
しかし今の彼女は上半身を振りしりせ
腕で男の体を押しつけようとすする物の、
臍内をえくられ乳房を揉みこまれる快感に
まるで非力な少女の様な抵抗しか返せません。

大柄なその体には似つかわしくない位の、
甘く蕩けきつた規則的な声を上げながら、
ただ犯され続けるカトシラ。
次第に激しくなっていく男の腰使いに、
呆然とした様な、それについて快感に溺れきつた表情で
高い絶頂へと押し上げられていきます…





激しい絶頂に上半身を仰け反らせ、大きく痙攣するカトリア。巨大な乳房は痙攣の度波打つように揺られ…その膈内も男根を絞り上げるように強い収縮を繰り返します。それに答える様に、長く堪えていた物を思う様カトリアの熱しきった子宮内にぶちまける男。許されない膈内射精に深い絶望を覚えながらも、体は更に高みに上り詰められ、甘いながらも獣の様に言葉にならない声をあげ全身を激しくひくつかせるカトリアなのでした…

気の遠くなるほど長く続いた射精を
子宮で全て受け止めさせられたカトリア
しかし快楽を刷り込まれた熟れた膈内は、
そんな背徳の種付けにも続け様の絶頂を極めます

心の中で何度も夫に謝りながらも、
もう戻れなくなってしまう自分が「カトリア」
薄らと気付かされているカトリアなのだった…

たつかりと膈内射精をしてもまた満足をしていないのか、
好色貴族は再び腰を打ち付け始めます。
何度も絶頂を覚えさせられた膈内を
太く熱い雄の肉棒で擦り上げられ、
再び甘い喘ぎを漏らしながら、
力の抜けた体を脂ぎった中年男の
成すがままに任せるカトリア…

夜明けはまだ遠い様です…



後書

えー

結局仕上げの時間がとれず
下描き以前のラフ原稿ばっかな
ペーパーになってしまいました

こんな感じのラフが普段は下描きの前にある訳なのですが…

そこから今回の表紙みたいな形で下描きしまして

(ペン入れする時はもすこし適当ですけど)

更にペン入れとなるわけです。

デッサンくだくだな自分の場合普段はこの段階で数日下描きまでの間を置いて

(その間に更に先のラフを進めて…)

おかしすぎる所を洗い出したりするわけなんですけど…

今回の8頁目とかも本来ならその候補ですね orz

肩より前に膝はどうやっても来ない…

今回はそこ止まりなのでもうくだくだな絵だらけです。

すみません。

んー平行作業もありながらの2週間ではちょっと厳しかったであります…

いやーしかしカトレアは溘いっす…

流石ゆっけ兄g様というか…脇の下に回る乳脂の表現とか溘まじいですね

完全にリミッター外して描けるのが快感ですw

等身のバランスが難しいですけど。

油断すると頭が小さくなりすぎたり。

もっとじっくり描きたいカトレアママでありました。

ではでは又よろしくお願ひしますー

- 興付 -

誌名： 「むちむちカトレア@のんりみったー」

発行日： 2007年5月13日

発行者： 沙悟荘

瀬浦沙悟

発行者連絡先：

E-mail： ser@fx.sakura.ne.jp

HPURL： <http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/>

禁・無断転載・複製